

6 - 1 中国東部・近畿北部・北陸地域における地震活動 (1984年1月～1984年6月)

Seismicity in the Eastern Chugoku, Northern Kinki and Hokuriku Districts,
Southwest Japan (January, 1984 - June, 1984)

京都大学防災研究所 鳥取微小地震観測所

北陸微小地震観測所

京都大学理学部 阿武山地震観測所

Tottori Microearthquake Observatory and Hokuriku Microearthquake

Observatory, Disaster Prevention Research Institute

Abuyama Seismological Observatory, Faculty of Science, Kyoto University

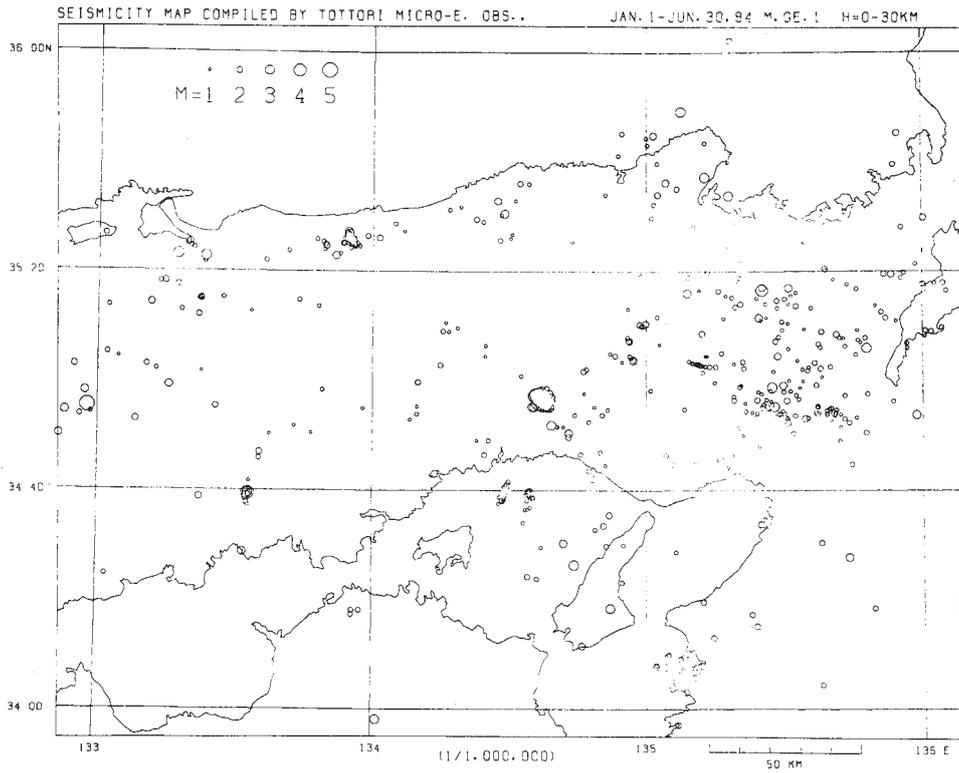
第1図に鳥取微小地震観測所の結果を示す。この半年、この地域では、山崎断層の地震（1984年5月30日、M5.6）¹⁾、1983年10月31日の鳥取県中部の地震²⁾の余震活動、4月の岡山県南部の群発地震が目立つもので、その他はむしろ静穏であった。

第2図に阿武山地震観測所の結果を示す。1月～3月の活動は平年並であったが、4月後半から活発となり、5月5日京都府大山崎町にM4.7の地震が起こった³⁾。6月25日上賀茂観測室(KG)の北々東6kmに起った地震(M4.2)は次に大きいものであった。この期間の地震数は、1～3月は269個、4～6月は512個であった。

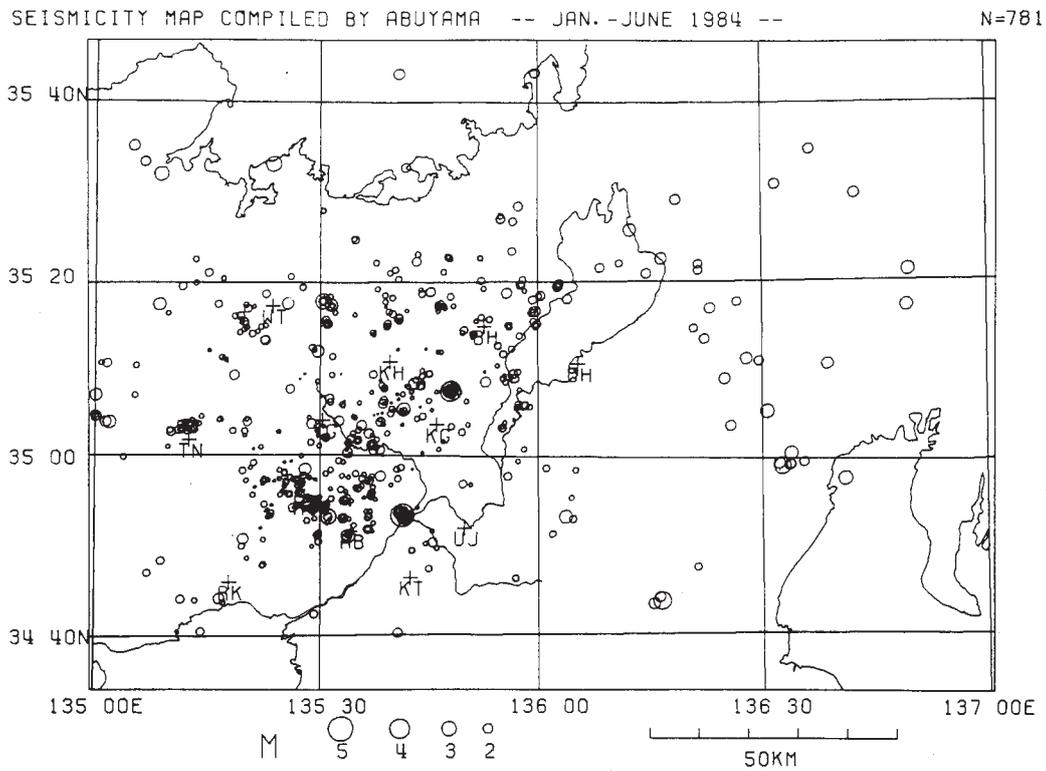
第3図に北陸微小地震観測所の結果を示す。この期間、この地域の活動は平常通りで特に取上げるべきものはなかった。

参 考 文 献

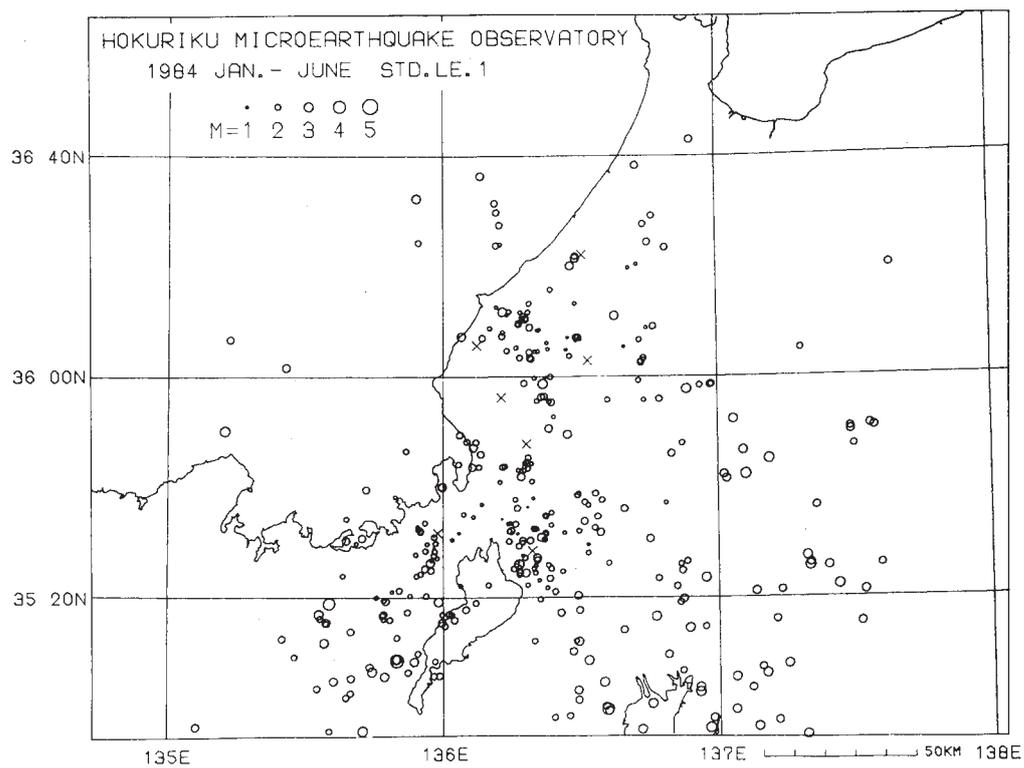
- 1) 山崎断層研究グループ:山崎断層の地震(1984年5月30日、M5.6)について、連絡会報, **33** (1985), 355 - 382.
- 2) 京都大学防災研究所鳥取微小地震観測所, 微小地震研究部門, 鳥取大学教養部地学教室: 1983年10月31日鳥取県中部の地震(M6.2)について、連絡会報, **31** (1984), 390 - 398.
- 3) 京都大学理学部・防災研究所:京都府南部の地震(1984年5月5日、M4.7)について、連絡会報, **32** (1984), 295-305.



第1図 鳥取微小地震観測所による震央分布図 (1984年1月~1984年6月)
 Fig. 1 Seismicity map by the Tottori Microearthquake Observatory (January, 1984 - June, 1984).



第2図 阿武山地震観測所による震央分布図 (1984年1月~1984年6月)
 Fig. 2 Seismicity map by the Abuyama Seismological Observatory (January, 1984 - June, 1984).



第3図 北陸微小地震観測所による震央分布図 (1984年1月～1984年6月)
Fig. 3 Seismicity map by the Hokuriku Microearthquake Observatory (January, 1984 - June, 1984) .